

# 人の輪便り

2015年7月号



## 市政への復活に深く感謝！！



開票を見守る支援者の皆さん

4月の市議会議員選挙からやがて4ヶ月近くが経過しますが、会員の皆さまを始め、多くの方々からのお力添えで無事に当選、市政の場に復帰できました。改めて心からの感謝を申し上げます。

思い起こせば、市議会への復活を目指して活動を始めたのは昨年8月、はたしてこの4年間のブランクを取り戻せるのか、と自ら決意したことながら弱気にな

った時期もありましたが、やりきるしかない、と再決意。それから必死に動き回りました。選挙期間中も100回を超える辻立ちで有権者に訴えました。多くのボランティアの皆さんに支えられ、また今回は市教職員組合を始め連合の皆さんからも支援を受け、十分にやりきった選挙戦だと思います。

それでも、開票結果を待つ間、開票場からの連絡で選挙事務所が湧き上がる場面が何度かありましたが、なかなか安心できず、胃を締め付けられるような感覚を体験しました。当選が確認できた時、皆さんと一緒に感じたあの喜びは忘れられないものとなりました。

4月30日の任期開始を待たずに10件余の相談が飛び込んできました。ありがたいことであり、期待の大きさもひしひしと感じます。

### 『厚生委員会』の委員長に就任

5月13日に開催された臨時議会で、6つある常任委員会のひとつ、『厚生委員会』の委員長に就任しました。障害者はもちろん、赤ちゃんから高齢者まで幅広い福祉の委員会です。また、4年ぶりとなる一般質問を12月議会で行ないます。

厚生委員会の行政視察や県内、県外への個人視察、さらには各種大会、総会への参加など、過去の議員時代よりはるかに忙しく動き回っています。これらの忙しさこそ、望んでいたことであり、選挙時の約束、「市民の声を議会に届け、行政に反映させる」ために全力を挙げて取り組みます。また、市議会では、これまで同様「市民連合」に所属しております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



村上博

# がんばれ むらかみ！！

東 すみよ（前熊本市議会議員・総合選対長）

4月12日の真夜中、「やったー！」という喜びの声が狭い選挙事務所に響いたとき、息を詰めて結果を見守っていた関係者は、喜びと共に肩の力が降りた安堵感を感じたことと思います。

熊本市が新しい制度での選挙戦になった今回は、以前の支持者は限られてきたものの、周りの新しい支持者への呼びかけはやりやすくなったという利点があります。教職員組合は勿論、連合という今までと違った労働組合組織の応援を得たことに加えて、これまで「村上ひろし」を支えて活動を続けてきた皆さんの必死さが結果を生むことができたと考えています。

市議会の中で必要だ…、村上に頑張ってもらいたいという声が5区の中で一番激戦区と言われた中央区での議席獲得に繋がった訳です。

これからの活動に期待する事は多いと思いますが、本人一人が頑張っても限りがあり、まわりの協力体制をいかに充実させていくかが、これからの活動課題になっていきます。私たちの思いを実現させるためにも「いつも一緒…」という連帯をもって支えてもらいたいと、今回、にわか選対長を引き受けた私の想いです。

時々、大きく息を吐きながら、  
がんばれ むらかみ！！



当選お礼のあいさつ

## 選挙を振り返って

村上ひろし後援会「村上博と市民ネットワーク」会長 吉住 眞

難しいと思いながら始めた選挙でしたが、関わって下さった事務局担当の方々、ヒューマンネットワーク関係の方々や教職員組合、連合・労働組合の皆様の熱意とご協力によって村上博さんは当選できました。

熊本市の行政の中で、市民にとって本当に必要な福祉を遂行するために必要な議員を確保できたこととなります。

当選に際しては直接、関わって下さった皆様の力、特に今までなかった大きなネームバリューの後援組織の存在は大きく、心強く感じました。しかし、計算できた票数以上の得票ができたのは、村上さんが過去12年間積んだ実績などを見て、聞いて、評価して下さった一般市民の方がおられ、今後も期待して頂いたという事でしょう。

このような皆様のためにも、村上さんと共に我々も一緒に考え、相談しながら後援会の運営を行う必要があるでしょう。政治は我々皆のものですから。

最後に、自分の後継者にと村上博を推挙して頂いた東すみよ様に感謝いたします。

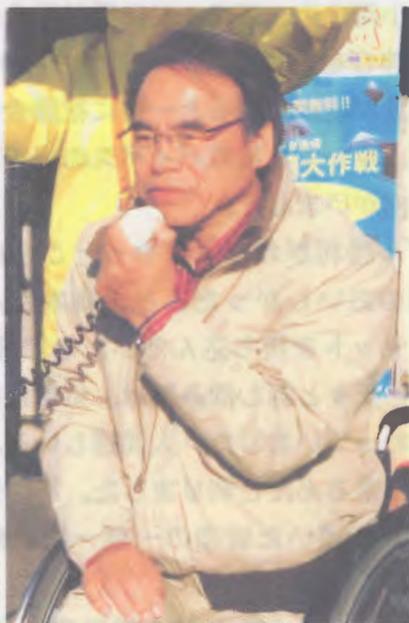
## 村上さんに期待します 一緒に頑張りましょう

右傾化に加速度がついた、今のような娑婆では、村上さんのような政治家の存在がますます重要になります。

右傾化は再軍備を伴うもので、それに要する莫大な予算の捻出には、必ず抵抗の弱い、彼等が非生産的部門と考えている医療、福祉、教育などの分野を、まず槍玉にあげるからです。現政権の制度改悪による社会保障予算の削減は、今年度だけで3,900億円にのぼりますが、一方、安倍首相が訪米して購入を契約してきたという「オスプレイ」は、17機で3,600億円ということです。

首相は「国民の平和と安全を守るため」と、あちこちで、聞きとり難い早口で述べていますが、あのオスプレイと、皆のための社会保障と、一体どちらが「平和と安全」につながるのでしょうか。村上さん頑張ってくださいよ。

顧問 宇野 昭彦



辻立ちでの訴え

今回は村上さんを必ず市議会へ送ろうと、みんなで力を合わせ、パワーアップして臨んだ選挙でした。そんなみんなの思いと行動が、当選という嬉しい結果となりました。

村上さんが市議会で活躍してくれるだろうと感じているみんなの期待は大きいだろうと感じています。行動力ある村上さんも、フル活動して応えてくださると確信しています。その分大変だと少し心配もしています。

でも、しつこく、粘り強く、けっしてあきらめない村上さんです。少しずつ熊本市を変えていってくれることと期待しています。

山口 眞由美

### 『社会変革への期待』

村上博さんが熊本市議会議員として再び社会変革へのチャレンジの機会が与えられたことに支援者の皆様と共に喜びたいと思います。世界全体にも日本国内にも暗雲が垂れ込め、強い者だけが尊ばれる社会、経済最優先の社会にあって、常に弱い立場の人、弱められた人々の立場に立って発言される村上博さんの生き方に対して時代の要請があったものと理解しています。

縮小、又は切り捨てられていく福祉政策に対して常に市民の代弁者としてご活躍されるよう期待しています。また、国民の意思に反する日本の右傾化に対してもピースメーカー（平和をつくりだす人）としてあり続けて頂きたいと願っています。

前 熊本 YMCA 総主事

一般社団法人 夢ネットはちどり代表理事

堤 弘雄

村上さんの選挙運動に微力ながら虹色の会として関わらせていただき、こんなにも、たくさんの人達に愛され、必要とされてる人なんだと言うことを肌で感じ、今まで知らなかった村上さんを沢山見て感じる事が出来た2週間でした。

私たち障がい児を持つ親や子どもたちが、声をあげてあげて、あげ続けても届かなかった言葉や思いを、村上さんなら、必ず議会に届け市政に反映させ、熊本市を変えて行ってくれる。そう信じています！私たちも村上さんと共にこれからも、頑張っていきたいと思います。本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

虹色の会会長 住谷 理香



ウグイス3人娘？！

宰相の「宰」の字は刀のことだと聞いたことがあります。古代中国では、祭りの時に切り分けられる肉が民衆の楽しみであった。一人一人にそれぞれの事情がある。どこからも文句が出ないように切り分けるのは難しい。最も賢く、最も人望がある人が刀を握ったという。

富の再配分は、政治の原点であっただけでなく、今の市政でも重大事です。

4月に市議選のお手伝いをさせていただきました。村上さんが市民と語る眼は温かく、政治を語りかける時の眼光は時に鋭かった。昔でいう鬼手仏心でしょうか。市民の為の志と、洞察力実行力を併せ持つ、村上博さんは現在の宰を担うにふさわしい人だと思います。

医師 川寄 真

今回の市議会議員選挙は、色々な意味でこれまでにはない選挙だったと思います。一番の違いは行政区域内での選挙となり、住んでいる場所によっては投票したい候補者に投票出来ない事でした。生活実態のない行政区毎に、区議会でない市議会の構成員（議員）を選ぶのに市民全体のベストな選択が出来なかったことになる訳です。区によっては選挙すらなかったのです。

村上さんの今回の選挙準備は決して早いものではなかったと、外から見ていてそう思いました。村上さんが立候補された中央区での友人、知り合いに周知する十分な時間もなく、お役に立ったか不安でした。

厚生委員会の委員長になられた由、めでたい事です。市議会棟の禁煙化は議員の健康のためにも、陳情に行く市民のためにも課題の1つですね。頑張ってください。

崇城大学薬学部教授 松倉 誠

当選が決まったあの夜からもう2ヶ月も過ぎたんですね！あの時は、9時頃から先ず花屋さんに行き花束を村上・岩田両事務所へ届けました。小雨の中、原チャリに乗り換え村上さんの票の伸びを現場の西岡・田中さんから受け、3,500票が確認できると一斉に祝勝会になりましたが、やがて私は東バイパスの岩田事務所の確認に向かいました。

ダブル勝利がわかってやっとなさ白山で飲むお酒のおいしかったこと！桑本さんと私はお泊りセットを持ち込んでいたので肝が座り、岡さんと延々と話し飲み続け、気付けば午前4時をまわっていました。人間嬉しいと、どんな無茶も出来るんだと判りました。あの美酒にありつけて頂いた皆様の一票一票に感謝感謝です。

熊本市退職教職員等協議会  
事務局 榎木 徹

『選挙事務所での、  
すべての人との出会いに感謝！』

私たちインクルージョン熊本は、「地域で共に学び、共に生きる」をスローガンに20年間活動を続けてきました。その間、東すみよさん、村上博さんには、厳しい状況を支えていただき、子どもたちのために、熊本市行政との交渉にご尽力いただきました。

今回、東すみよさんの思いを受け継ぎ、熊本市教組と市民ネットワークが連帯して村上博さんが市議選に再挑戦されることになり、私も1月から事務所スタッフとしてお手伝いさせていただきました。選挙事務所では、連合傘下の各労働組合や市民ネットワークの皆さんをはじめ、退教協の先生方や、でんでん虫の会などのボランティアの皆さんなど、村上博さんに期待するたくさんの方々の献身的なご支援をいただき、見事当選を果たすことができました。ご支援ご協力に深く感謝しています。

今後もこの出会いを大切に、車いすの視点を市政に生かす村上博さんと共に、誰もが住みよい熊本を、みんなの力で作ってまいります。ありがとうございました。

村上選挙事務所スタッフ 桑本 謙

『選挙で受け取ったこの御礼は、  
仕事で必ず返す』

鹿児島でやきもきしながら事務所からの電話中継で知った朗報。

祝福の電話が多だろうと予想し、翌日に連絡をしたら既に案件に取り組んでいらした話を伺い、やっぱりこの人でよかった。この人しかいないと再確認いたしました。

仕事に関しては、何もいうことはありませんが、あとは年齢と体力。(笑)くれぐれも身体に気をつけて！！市民の声を届けてくださいね！

選挙事務所スタッフ 飯田 佳緒里

今回の選挙は、これまで東すみよさんと教職員組合を中心とした組合が守り続けてきた議席。そして村上さんが灯してきた草の根の選挙運動の意義が存続できるかどうかの瀬戸際の選挙戦でした。組合の方々は勿論、市民の皆さん、そして障害を持つ仲間や家族、福祉関係者の方々が真剣に取り組んだ選挙でした。

結果的に3,761人の方々が村上さんを支持し投票をして下さいました。村上さんと私たちは、これからも沢山の方々と手を取り合いながら、意見を交わしながら熊本市が住みやすい街になるように努力していきたいと思えます。

沢山のご支援ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願い致します。

事務局長 友村 年孝



“がんばって！”  
“がんばります！”と握手

# むらかみの目

## 「4年間の変遷！」

変わった事と言えば、「厚生委員会」は4年前、「保健福祉子ども委員会」という呼び名でした。また、組織改編により市長直属の「市長政策総室」や「スポーツ振興課」などが新設されています。

## 『厚生委員会』

幅広い福祉の分野だけに予算規模も熊本市の予算のおよそ4割。責任と期待をズシリと感じます。また、4年ぶりの一般質問は初当選の時、本会議場の演壇の改造を待って行った時と同じく12月議会です。日程が決まり次第案内しますので、その折にはたくさんの方の傍聴をお願いします。

## 「ギョー、25番！」

本会議場の議席は、前から3列目、25番です。4年前は前から2列目、18番でした。TVニュースでご確認ください。

一般質問の折には、村上：「議長、25番」（と叫び拳手をする）議長：「村上博議員」⇒演壇へ



4年ぶりの当選証書授与式



25番 村上博の議席



### 編集後記

大激戦の中央区選挙を、皆様の総力で再選を果たすことができました。しかし、村上ひろしにとってそれは市政へのスタートラインです。皆様のご期待を心の糧として、これからも、「車いすの視点を生かし、すべての人にやさしい熊本」をめざします。今後とも、ご支援ご協力を切にお願いします。最後に、編集にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

村上博と市民ネットワーク

〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目11-4-2F  
連絡先：TEL(096) 328-2650 FAX(096) 328-2653